

# 手術数でわかる地方別の「いい病院」ランキング

## 脳疾患

### 外科、内科の両方の治療が進む

脳の動脈にできた瘤（脳動脈瘤）が破裂することで発症するくも膜下出血。その外科的治療法である脳動脈瘤開頭術は、開頭して瘤の根元にクリップをかけて、破裂や再破裂を防ぐ手術だ。その手術数近畿2位の

大西脳神経外科病院は164例。前年より手術数を26例伸ばしている。2000年12月に脳疾患に特化した病院として開院し、以来、明石市とその周辺の救急医療を担っている。院長の大西英之医師は、こう話す。「明石市には、がん専門の兵庫県立がんセンターと心臓病を得意とする明石医療センターがあり、当院の脳疾患とあわせて、3大疾患をフォローできています。病床数82床で救急に対応するために、当院の担当者が早い段階から近隣の病院へ連絡を取り、急性期から回復期に移る患者さんの転院先を手配しています。このシステムが機能して、多くの患者さんは2週間での退院を実現できています」

同院は現在、新棟を建築中で、13年4月には40床増える予定だ。1室しかない手術室も4室に増え、うち1室は内科的治療と外科的治療の両

方に対応できるハイブリッド手術室だという。ハイブリッド手術室は、従来、外科的治療は手術室、内科的治療はカテーテル室と分かれていたものを、同時にできる。「救急医療だけでなく、未破裂の脳動脈瘤が見つかって予防的な治療を求めて来る患者さんも増えています。瘤の位置や形などによって、内科的治療のほうがいいケースがあるので、患者さんに適した治療が選べるよう、今後は強化していきたいと考えています」（大西医師）



大西脳神経外科病院  
院長  
おおにしひでゆき  
大西英之医師

## 脳腫瘍ランキング

兵庫	神戸大学病院	133	神戸市中央区楠町7-5-2	甲村英二	篠山隆司
	兵庫医科大学病院	128	西宮市武庫川町1-1	有田憲生	泉本修一
	関西労災病院	97	尼崎市稲葉荘3-1-69	瀧 琢有	西尾雅実
	神戸市立医療センター中央市民病院	77	神戸市中央区港島南町2-1-1	上野 泰	今村博敏
	大西脳神経外科病院	55	明石市大久保町江井島1661-1	久我純弘	兒玉裕司
	(国)姫路医療センター	43	姫路市本町68	中嶋教夫	西村真樹
	市立西脇病院	42	西脇市下戸田652-1	澤 秀樹	井口 基
	公立豊岡病院	31	豊岡市戸牧1094	木村英仁	
	姫路赤十字病院	29	姫路市下手野1-12-1	清水洋治	高橋和也
	兵庫県立西宮病院	21	西宮市六湛寺町13-9	榊 孝之	
社会保険神戸中央病院	18	神戸市北区惣山町2-1-1	松本圭吾	松田和也	

## 脳動脈瘤開頭術ランキング

兵庫	大西脳神経外科病院	164	明石市大久保町江井島1661-1	久我純弘	兒玉裕司
	神戸市立医療センター中央市民病院	134	神戸市中央区港島南町2-1-1	坂井信幸	上野 泰
	順心病院	97	加古川市平岡町一色115	栗原英治	黒田竜一
	公立豊岡病院	56	豊岡市戸牧1094	木村英仁	千葉義幸
	市立西脇病院	49	西脇市下戸田652-1	澤 秀樹	井口 基
	関西労災病院	45	尼崎市稲葉荘3-1-69	瀧 琢有	西尾雅実
	西宮協立脳神経外科病院	39	西宮市今津山中町11-1	三宅裕治	辻 雅夫
	(国)姫路医療センター	33	姫路市本町68	中嶋教夫	西村真樹
	吉田病院	31	神戸市兵庫区大開通9-2-6	増田 敦	南 浩昭
	恒生病院	31	神戸市北区道場町日下部中ノゴウ1788	頃末和良	田村昌吾
	兵庫県立西宮病院	31	西宮市六湛寺町13-9	榊 孝之	
	新須磨病院	29	神戸市須磨区磯馴町4-1-6	鈴木壽彦	高石吉将
	神戸大学病院	29	神戸市中央区楠町7-5-2	細田弘吉	谷口理章
	合志病院	22	尼崎市長洲西通1-8-20	松本 強	
兵庫県立尼崎病院	22	尼崎市東大物町1-1-1	橋本研二	堀川文彦	

医療法人社団 英明会

# 大西脳神経外科病院

最新設備の導入や地域との連携を進め  
地域に密着した高度な脳疾患治療を実践



2013年春開設予定の新棟



診療開始前には全員が参加するカンファレンスを1時間半かけて実施。前日に治療した患者のレントゲンなどを全員で確認する

## 24時間365日対応する 脳疾患治療を実践

2000年12月に開院して以来、地域の脳疾患治療に貢献し続けてきた大西脳神経外科病院。大西英之院長は過去に大学病院、国立病院、県立病院などの総合病院で治療に携わってきた経歴を持つが、当時は脳疾患の救急医療体制が全国的に不十分だったと語る。「脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳血管障害は早急かつ適切な治療が求められる疾患です。にも関わらず、きめ細やかな救急対応ができていないことにジレンマ

を感じていました」

その解消が同院の開院を決定した理由だったが、それには血栓を溶かすtPA療法や、カテーテルで血管を広げる血管内治療、頸動脈の詰まりを改善する頸動脈内膜剥離術などの高度な治療の提供に加え、24時間365日対応できる体制も必要になる。「その実現は小規模の診療所では困難だったため、自然と病院を開院する流れになりました」と大西院長は振り返る。正確な治療のため画像診断も重視し、MRI2台での検査体制も整えたという。

## 地域での連携を進め 最善の医療を目指す

当然ながら、救急対応には院内だけでなく救急隊や他の施設など、地域全体で取り組むことが重要だ。そ



同院では脳疾患や外傷に対する脳外科手術から、開頭しない脳血管内治療、脊髄の治療まで取り組む

のため、大西院長は開院当初より地域全体の救急体制の確立に力を注いできた。

現在では

東播磨脳卒中地域医療連携協議会の代表世話人として地域の脳卒中診療の取りまとめ役も務めている。「協議会に所属する急性期病院と回復期・維持期病院では、『地域連携パス』を使って治療計画を共有しています。救急の患者さんを急性期病院で治療した後は、パスに従って回復期・維持期病院でリハビリを進めていけるのです」と大西院長が説明するように、各医療機関が連携することで、病期に応じた効果的な治療が可能になったという。

現在、同院はより多くの患者を受け入れるために新棟の建設を進めている。新棟棟ではMRIを1台増やす他、術中にMRI検査や血管造影検査が可能なハイブリッド手術室も設置する予定だ。それによって検



院長 大西 英之

おにおし・ひでゆき ●奈良県立医科大学卒業。医学博士。2000年12月に大西脳神経外科病院を開院。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本脳神経外科学会代議員・評議員、日本脳卒中学会評議員、日本脳腫瘍の外科学会評議員、日本頭蓋底外科学会理事など

査時間の短縮や、よりの確かな手術が実現できるという。大西院長が脳疾患治療の充実を心がける背景には、「がん、心疾患など、各疾患の治療に特化した複数の病院が地域の中で分担して患者を診る方が、1つの総合病院ですべてをカバーするより、高度な医療が実現できます」という考えがある。同院は、その中心を担うべく、更なる発展を目指していく。取材/鈴木健太

医療法人社団 英明会 大西脳神経外科病院

診療科目: 脳神経外科、神経内科、放射線科、  
麻酔科(鈴木夕希子)、  
リハビリテーション科

受付時間: 9:00~12:00 / 14:00~17:00

休診日: 土・日・祝

病床数: 82床

〒674-0064

兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL.078-938-1238 FAX.078-938-1236

http://www.onc.akashi.hyogo.jp/